

第13回「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議 説明資料

もっと「歩いて楽しいまちなか」にするために

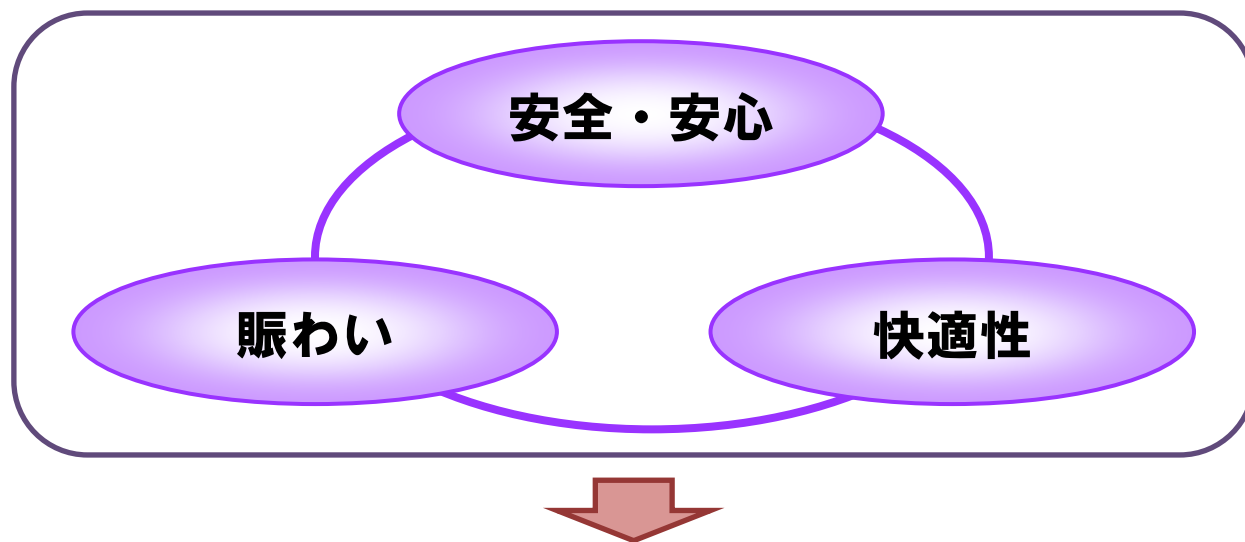
令和3年3月23日

目 次

1. 「歩いて楽しいまちなか戦略」とは・・・	P2
2. 四条通におけるこれまでの取組	P3～5
3. まちなかの細街路におけるこれまでの取組	P6～7
4. まちなかの現状	P8～20
5. 令和2年度の主な取組	P21～28
6. 今後の取組方針について	P29～35

1. 「歩いて楽しいまちなか戦略」 とは・・・

50年後，100年後も，すべての人を魅了するまちであるよう，
「歩いて楽しいまち」を創出する。



交通環境改善

徒歩と公共交通が主役となる交通環境

魅力的な空間形成

歴史的都心地区にふさわしい，魅力的で秩序ある
都市空間の形成

賑わい創出

歴史的都心地区のポテンシャルを活かした魅力・活力

(2) 四条通歩道拡幅事業に伴う地上機器の移設と美装化

■ 地上機器の移設 ⇒ 平成30年6月完了

歩道拡幅に伴い歩道中央付近に残った地上機器を移設

- ※地上機器は電気を安全に供給するための設備で、無電柱化の際に設置
- ※一部の地上機器は、地下埋設物等が支障となり、電力柵が設置できないため、横断防止柵付近からやや離れた位置又は歩道中央付近に存置

【移設前】



【移設後】



■ 地上機器の美装化 ⇒ 平成30年8月完了

歩道拡幅事業完了

歩いて楽しい「まち歩きギャラリー」が誕生

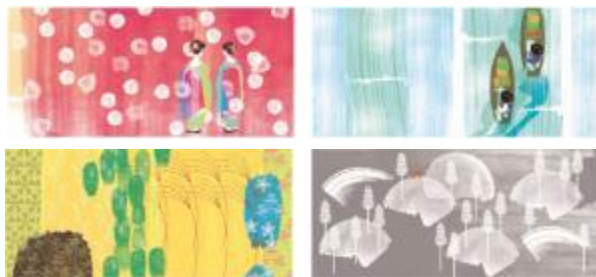
丸みのある台座による安全対策

⇒視認性の向上と歩行者が接触した場合の衝突軽減

磁器板による美装化

⇒四条繁栄会商店街振興組合及び京都市立芸術大学の協力のもと、洛中洛外の四季の移ろい等を表現

【磁器板デザインの一例】



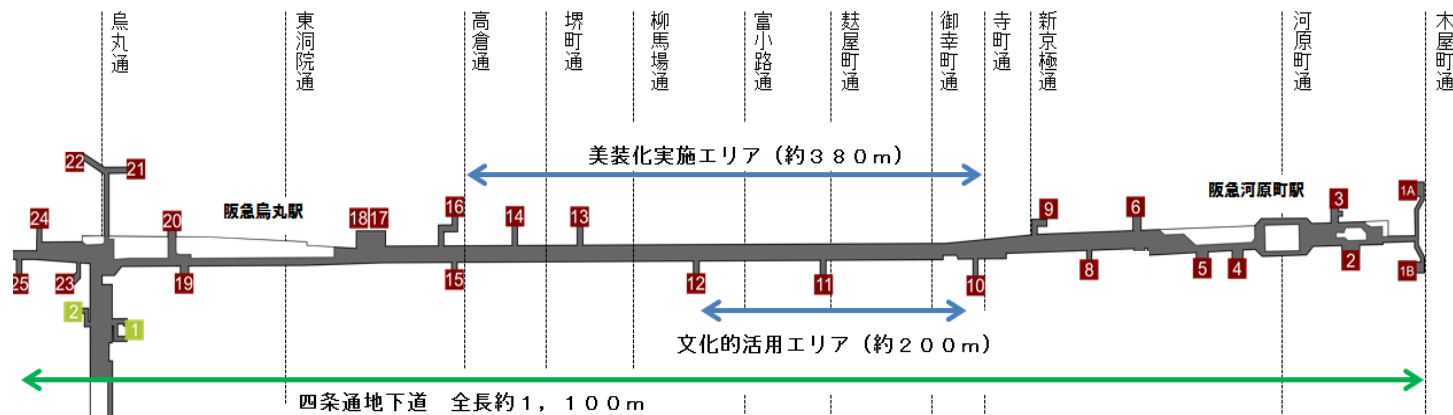
地上機器美装化の状況



地上機器美装化お披露目会の様子（平成30年9月3日開催）

(3) 四条通地下道活性化事業

<四条通地下道概要図>



平成30年度	令和元年度	令和2年度
明治150年記念みんなの写真展	パネル展「京都と皇室の軌跡 ～平成から令和へ～」	KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 SATELLITE EVENT KG+2020
未来の京都・四条 児童絵画展	祇園祭創始1150記念「市民公募 写真展」	京都・グアダハラ姉妹都市提携 40周年記念パネル展示
『天才アートがやってきた！ ～公共空間にアートの彩り！』	「平成最後の日～その日京都で ～」写真展	コロナと戦う人々の肖像写真展 「マスク時代の肖像」
	『天才アートがやってきた！ ～公共空間にアートの彩り！』	『天才アートがやってきた！ ～公共空間にアートの彩り！』

- 四条通地下道の更なる活性化に向け、持続的な活性化方策及び適切な管理のあり方等について、引き続き検討

3. まちなかの細街路におけるこれまでの取組

(1) 「歩いて楽しいまちなかゾーン」の整備

【整備方針】

- **走行空間の優先順位:「歩行者＞自転車＞自動車」**
- 安心でゆとりある歩行空間の確保
- 自動車の走行速度の抑制
- 自転車の交通秩序の整序化を実現

【具体的な整備内容】

- ア) 路側線の引き直しとカラーラインの設置
- イ) ゾーン出入り口での対策
- ウ) 三条通でのカラー舗装等の実施



(麩屋町御池交差点)



● 信号機の撤去 ■ 薄層カラー舗装 ■ 小舗石舗装

薄層カラー舗装等の実施状況



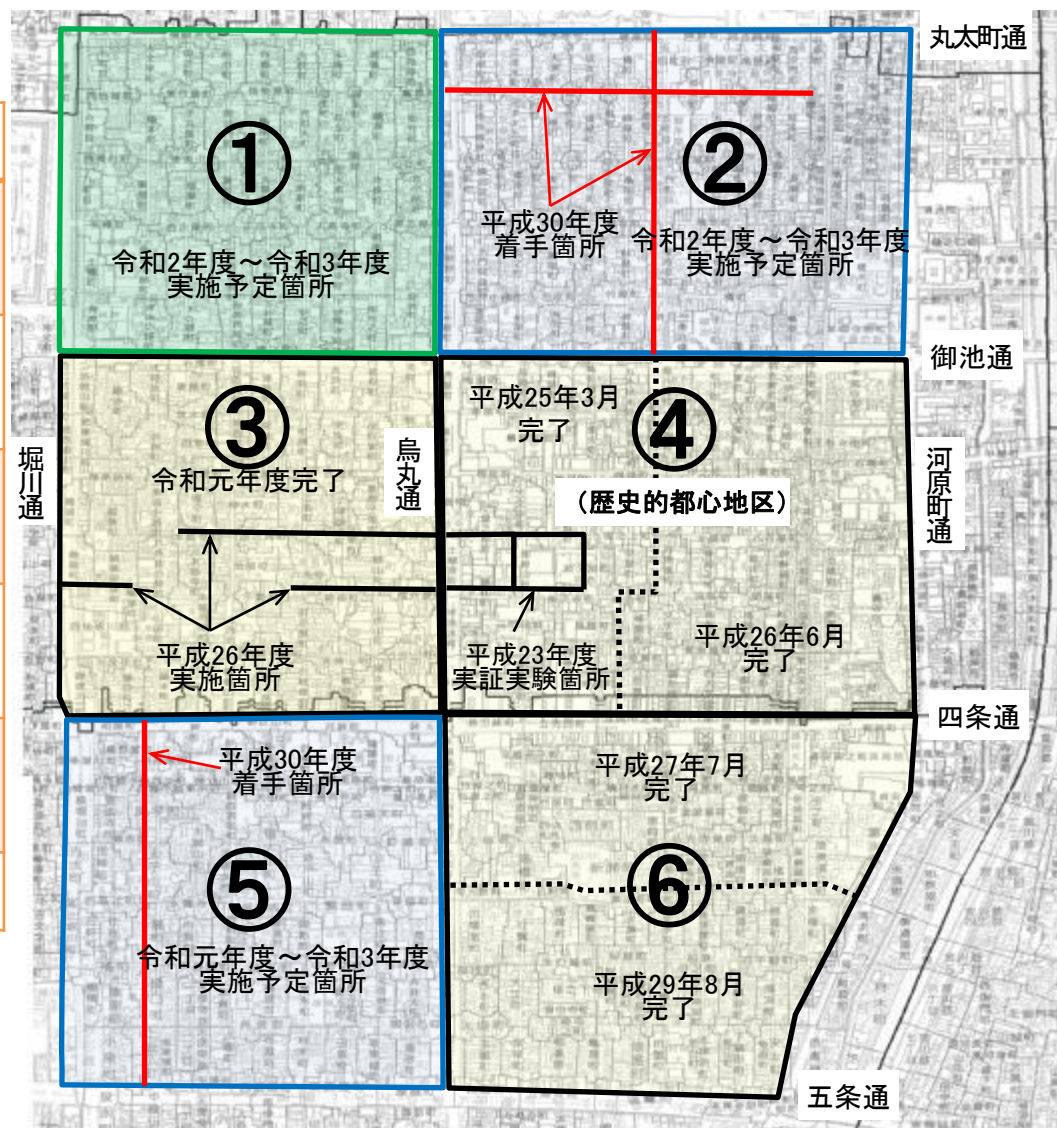
薄層カラー舗装及び小舗石舗装

(2) 「歩いて楽しいまちなかゾーン」進捗状況

【整備状況】

【これまでの経緯】

時期	実施内容
23年度	高倉学区における 実証実験
24年度～ 26年度	歴史的都心地区の 整備完了(ゾーン④)
26年度～ 29年度	整備範囲を広げて 実施(ゾーン③, ⑥)
30年度	ゾーン②, ③, ⑤におけ る整備
令和 元年度	ゾーン③完了 ゾーン⑤に着手
令和2年度	ゾーン①②に着手



4. まちなかの現状

＜新型コロナウイルス感染症**拡大前**のまちなかの姿（～令和元年まで）＞

- ・ まちなかの**歩行者数が増加**！（整備前と比べて約2割増）
- ・ まちなかの**交通事故件数が減少**！（5年前の約4分の1に）
- ・ まちなかの交通量減少に伴い、**一酸化炭素（CO）濃度が減少**！

（7年間で半減）

- ・ まちなかの**地価が上昇**！（中京区の商業地では、5年間で1.8倍）

＜現在のまちなかの姿（新型コロナウイルス感染症**拡大後**）＞

- ・ まちなかの**歩行者数が大幅に減少**！（前年の約3分の2に）
（特に、京都府外や京都府内（京都市以外）からの人出が減少）
- ・ まちなかの**交通量が減少**！（前年と比べ、1日あたり1,000台減）
- ・ 交通量の減少等により、**市バスの平均運行時間は**

設定時間を下回るケースが増加

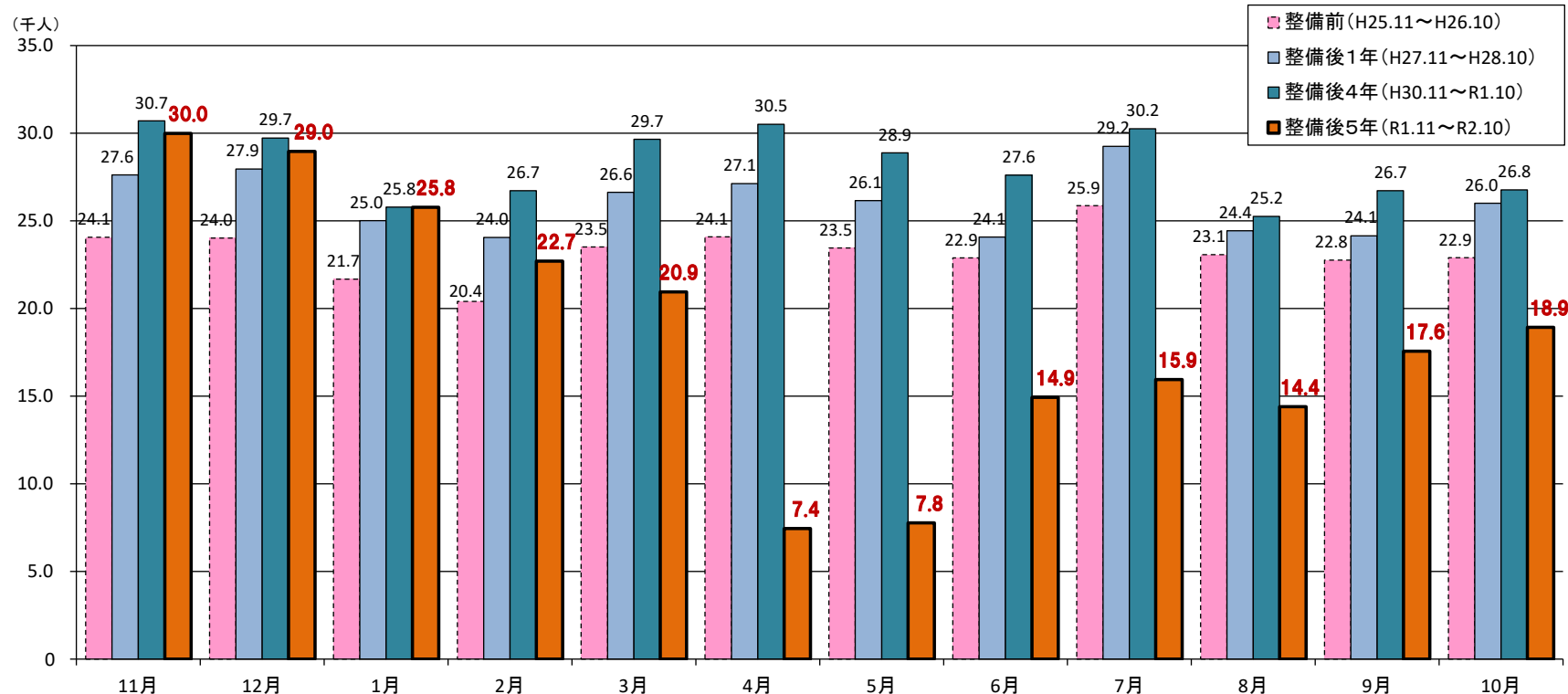
< 1 賑わい > まちなかの歩行者数 (① 四条通)

- ・ 四条通の歩行者数は拡幅整備後、増加傾向であったが（コロナ前：整備前比約 2 割増），新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け，令和 2 年は大幅に減少し，**前年比 33.5%減**（整備前比 19.2%減）となった。

整備前（平成 25 年 11 月～平成 26 年 10 月）：23.2 千人／日

整備後（コロナ前 平成 30 年 11 月～令和元年 10 月）：28.2 千人／日（整備前比：21.4%増）

整備後（令和元年 11 月～令和 2 年 10 月）：18.8 千人／日（前年比：33.5%減(整備前比：19.2%減)）



※四条繁栄会商店街組合からの提供データをもとに，京都市で集計したもの

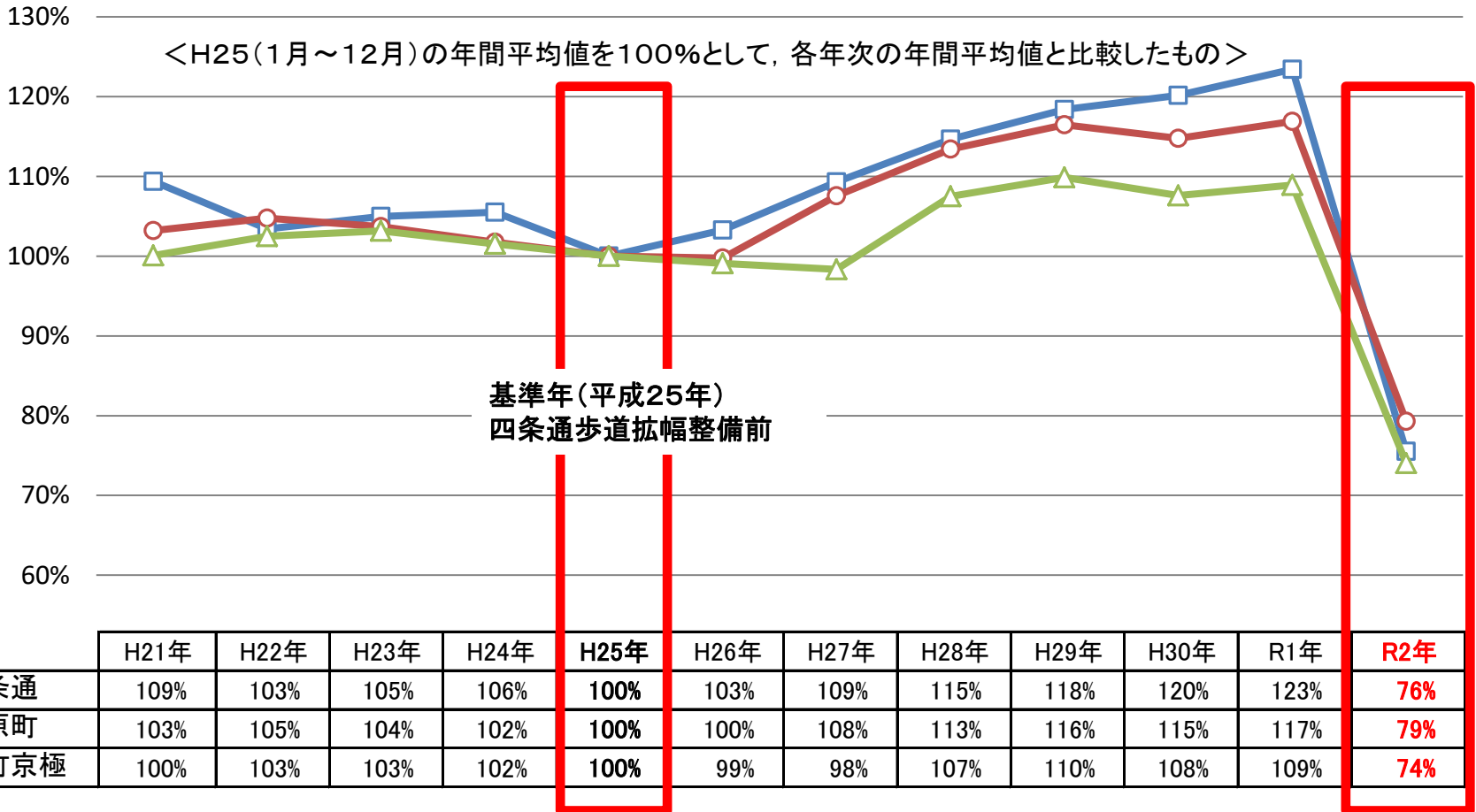
※平成 27 年 9 月に歩行者カウンターのセンサー範囲を拡幅後の歩道まで拡大

※歩行者カウンターの不備等により正確に測定できていない日は集計から除外している

図 四条通の歩行者数の変化

< 1 賑わい > まちなかの歩行者数 (② まちなか)

- まちなかの各通りの歩行者数についても、平成25年（四条通歩道拡幅整備前）比で**2割程度減少**している。

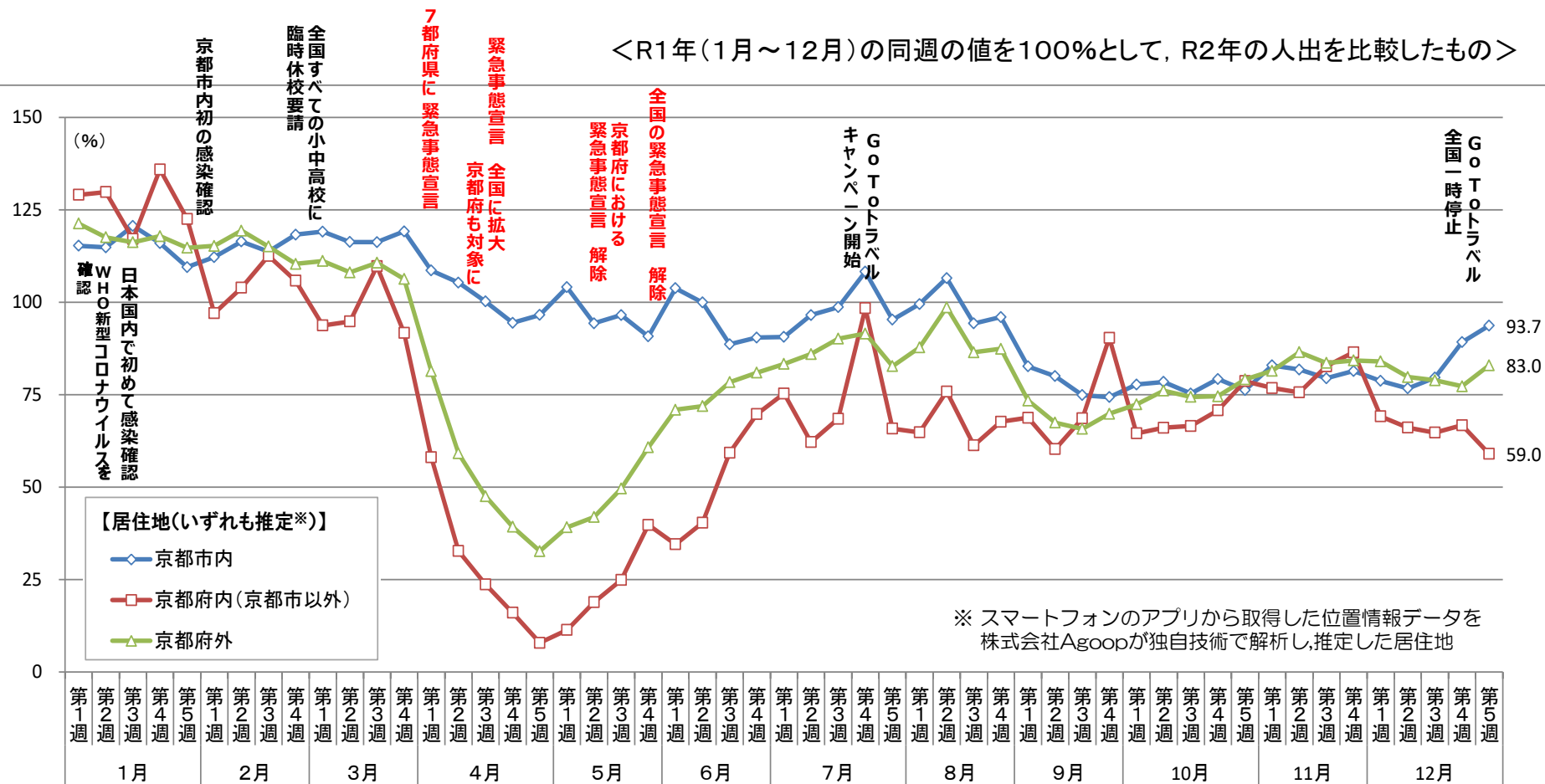


※各商店街振興組合からの提供データをもとに、京都市で集計したもの
 ※歩行者カウンターの不備等により正確に測定できていない日は集計から除外している

図 まちなかの歩行者数の変化

< 1 賑わい > まちなかの滞在人口（居住地別）

- 四條河原町周辺では、緊急事態宣言が発出された昨年4月以降、京都市以外からの人出が大きく減少している。



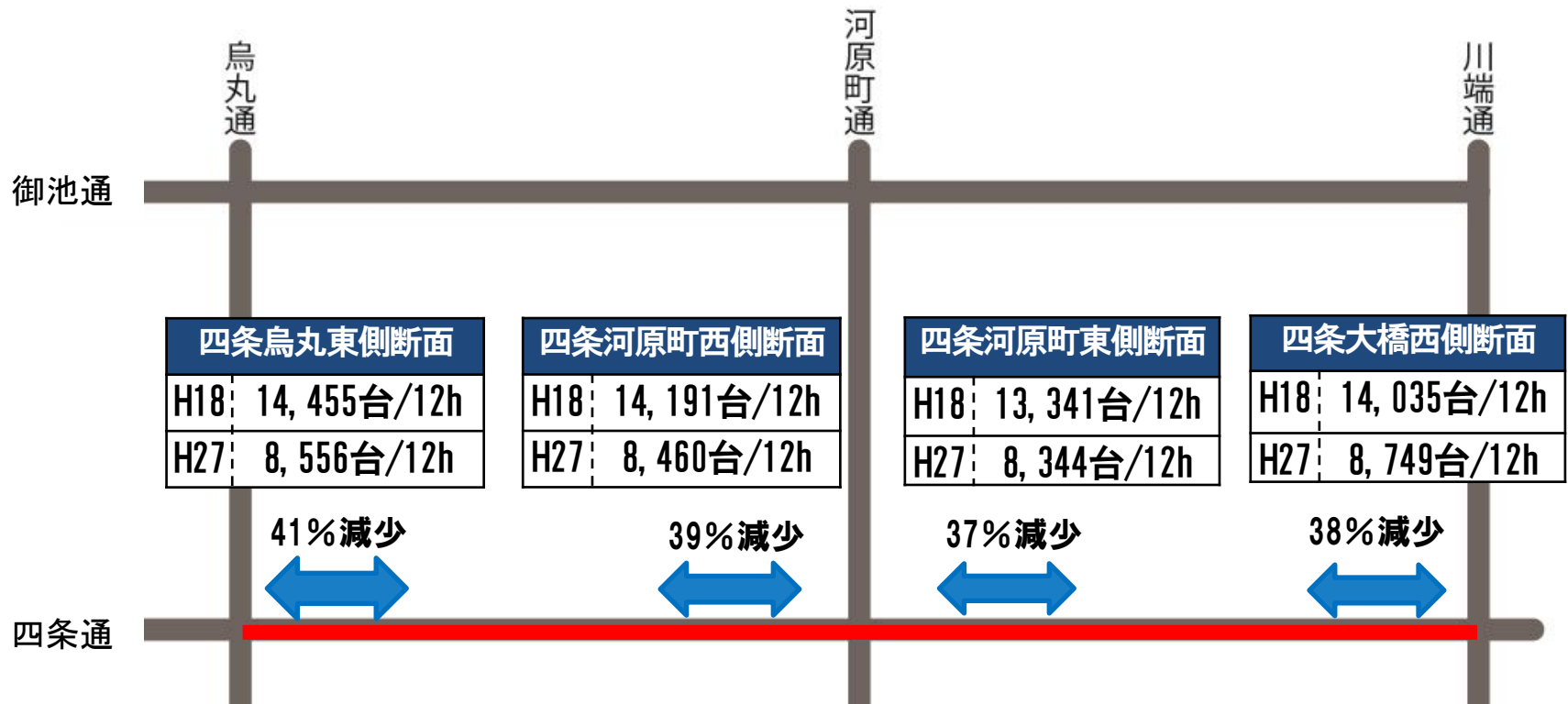
資料：V-RESAS(株式会社Agoopの流動人口データを用いて、人の動きや流れを時間帯別に把握できるような可視化したもの)

図 阪急京都河原町駅周辺の人出の変化（R1→R2）

< 2 交通 > 四条通の交通量 整備前後（H18－H27）比較

12時間交通量の変化（平日・7時台～19時台・東西方向）第8回資料より抜粋

- 四条通の自動車交通量は、歩道拡幅整備前の平成18年と整備直後の平成27年比較で、約4割減少している。



調査日：平成18年10月3日（火），平成27年11月11日（水）

< 2 交通 > 四条通の交通量（令和元年と令和2年の比較）

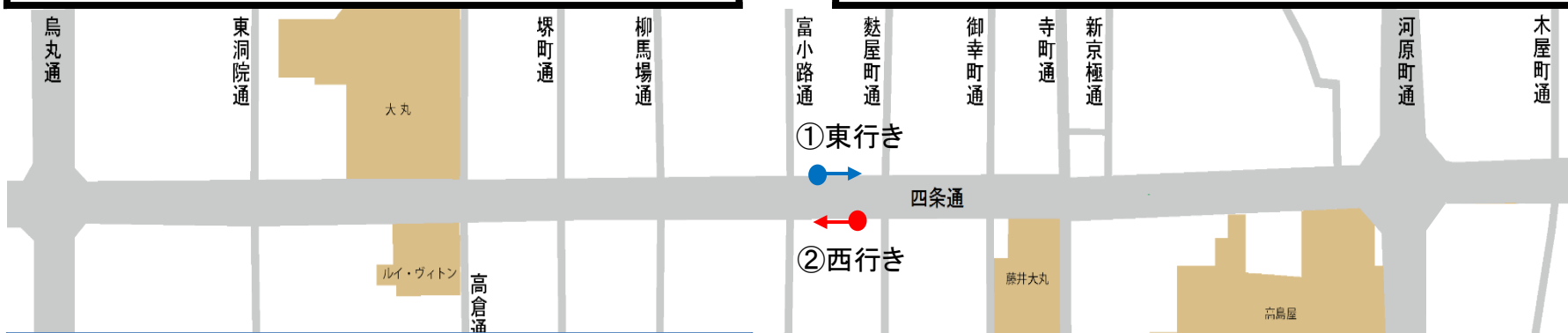
- 令和2年の交通量は、前年と比べて年間で約36万9千台、**1日あたり1,000台程度減少（約7%減）**した。
- 東行に比べて西行の交通量の減少率が大い。

★ <年間交通量> 東西計

R1	R2	増減
5,214,105台	4,845,040台	369,065台減

★ <1日平均交通量> 東西計

R1	R2	増減	対前年比
14,287台	13,241台	1,046台減	92.7%



① <年間交通量> 四条富小路東詰め（東行き）

R1	R2	増減
2,504,496台	2,373,138台	131,358台減

① <1日平均交通量> 四条富小路東詰め（東行き）

R1	R2	増減	対前年比
6,863台	6,486台	377台減	94.5%

② <年間交通量> 四条麩屋町西詰（西行き）

R1	R2	増減
2,709,609台	2,471,902台	237,707台減

② <1日平均交通量> 四条麩屋町西詰め（西行き）

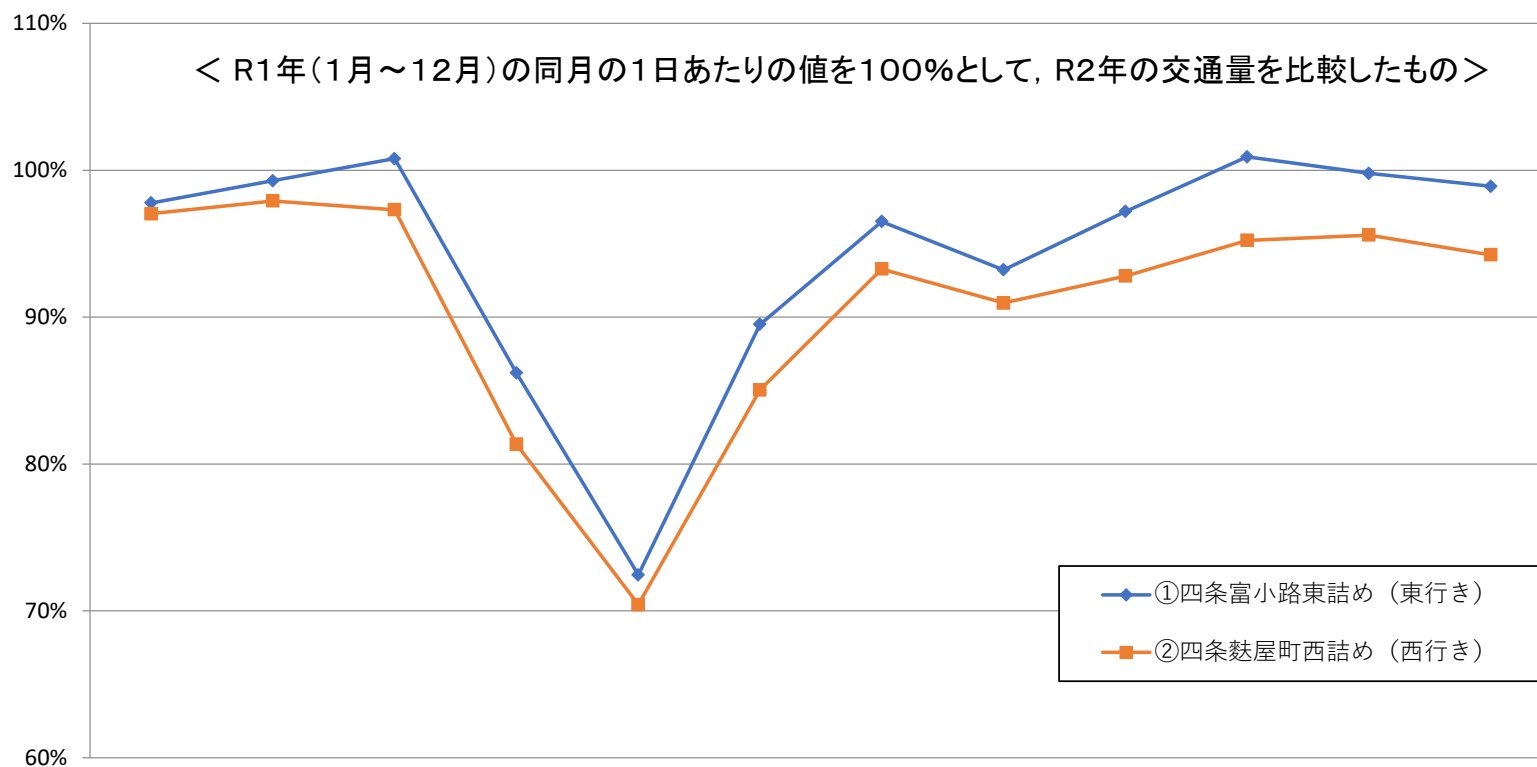
R1	R2	増減	対前年比
7,424台	6,755台	669台減	91.0%

図 四条通の交通量

資料提供：京都府警察本部

< 2 交通 > 四条通の月別交通量（令和元年と令和2年との比較）

- 令和2年の交通量は、緊急事態宣言下の5月に前年より30%程度減少したものの、それ以降は概ね前年比95%前後で推移している。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
① 四条富小路東詰め（東行き）	97.8%	99.3%	100.8%	86.2%	72.4%	89.5%	96.5%	93.2%	97.2%	100.9%	99.8%	98.9%
② 四条麩屋町西詰め（西行き）	97.0%	97.9%	97.3%	81.3%	70.4%	85.0%	93.3%	91.0%	92.8%	95.2%	95.6%	94.2%

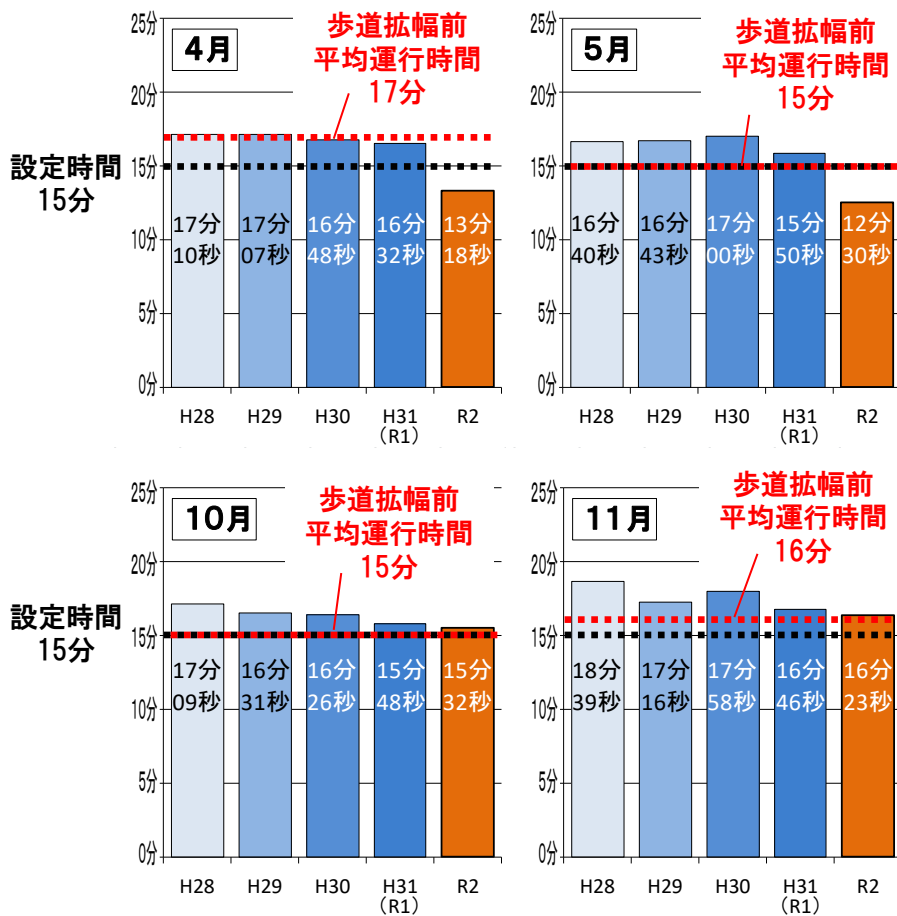
図 四条通の交通量の変化

資料提供：京都府警察本部

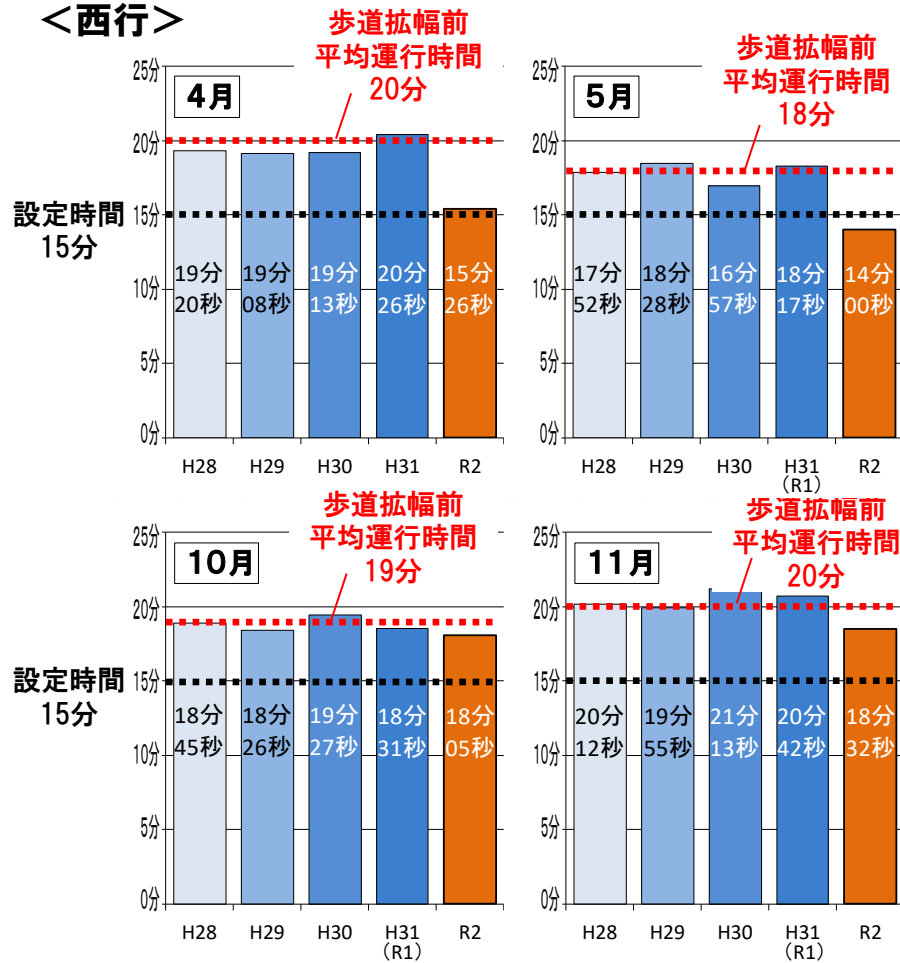
< 2 交通 > 市バスの平均運行時間

- 交通量が減少した4月，5月の市バスの平均運行時間は**設定時間（15分）**を大幅に下回るケースも見られるが，**秋の観光シーズンでは，前年よりは改善しているものの，設定時間を超えているケースがある。**

< 東行 >



< 西行 >

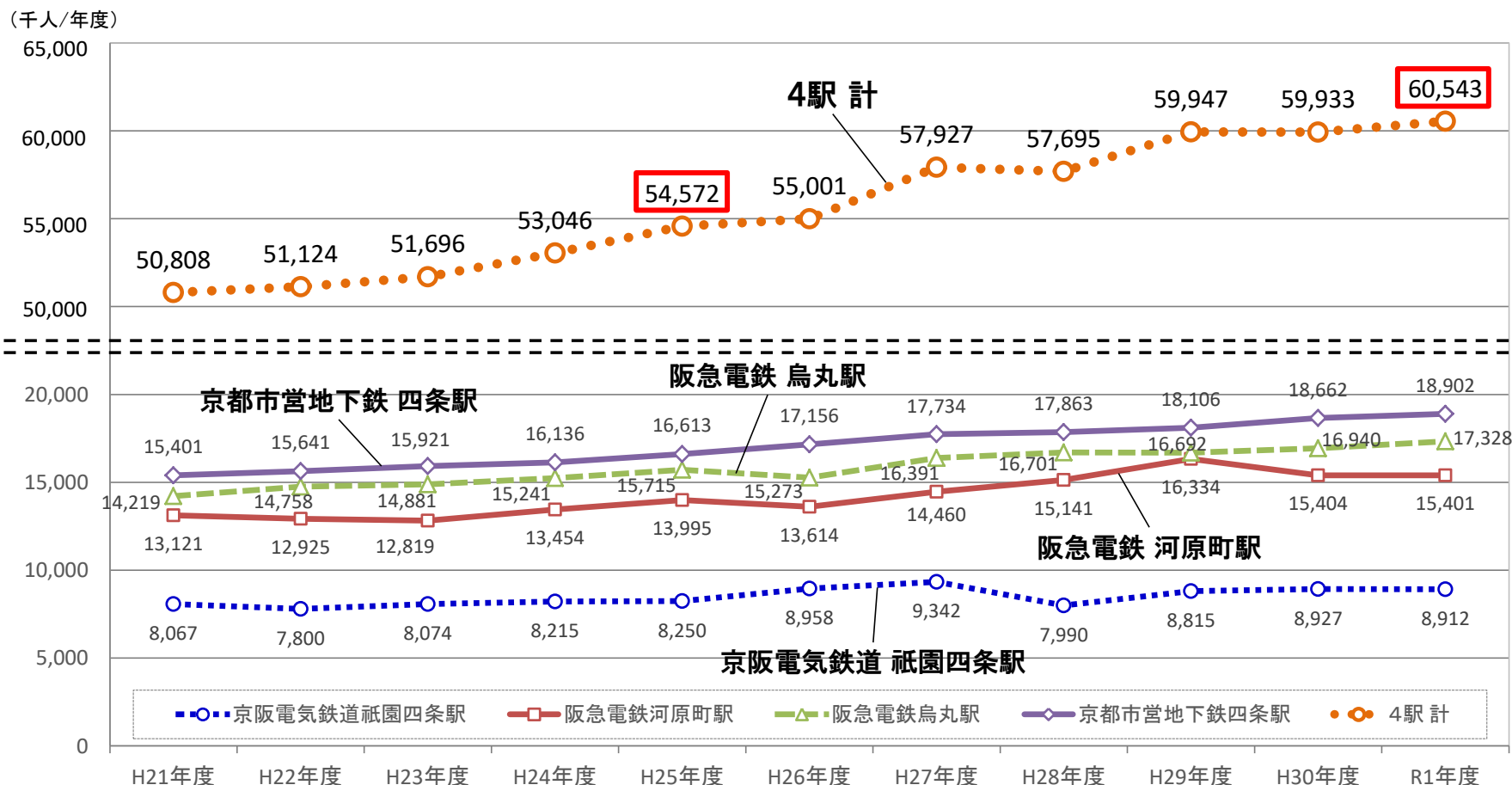


区間：四条堀川交差点～祇園交差点 集計時間帯：15時台～18時台

図 四条通の整備区間を通る市バスの平均運行時間

< 2 交通 > 公共交通による来訪者数

- 四条通整備区間周辺の鉄道駅の乗車人数は，整備前（平成25年度）と比べて10.9%増加している。（※令和元年度時点）

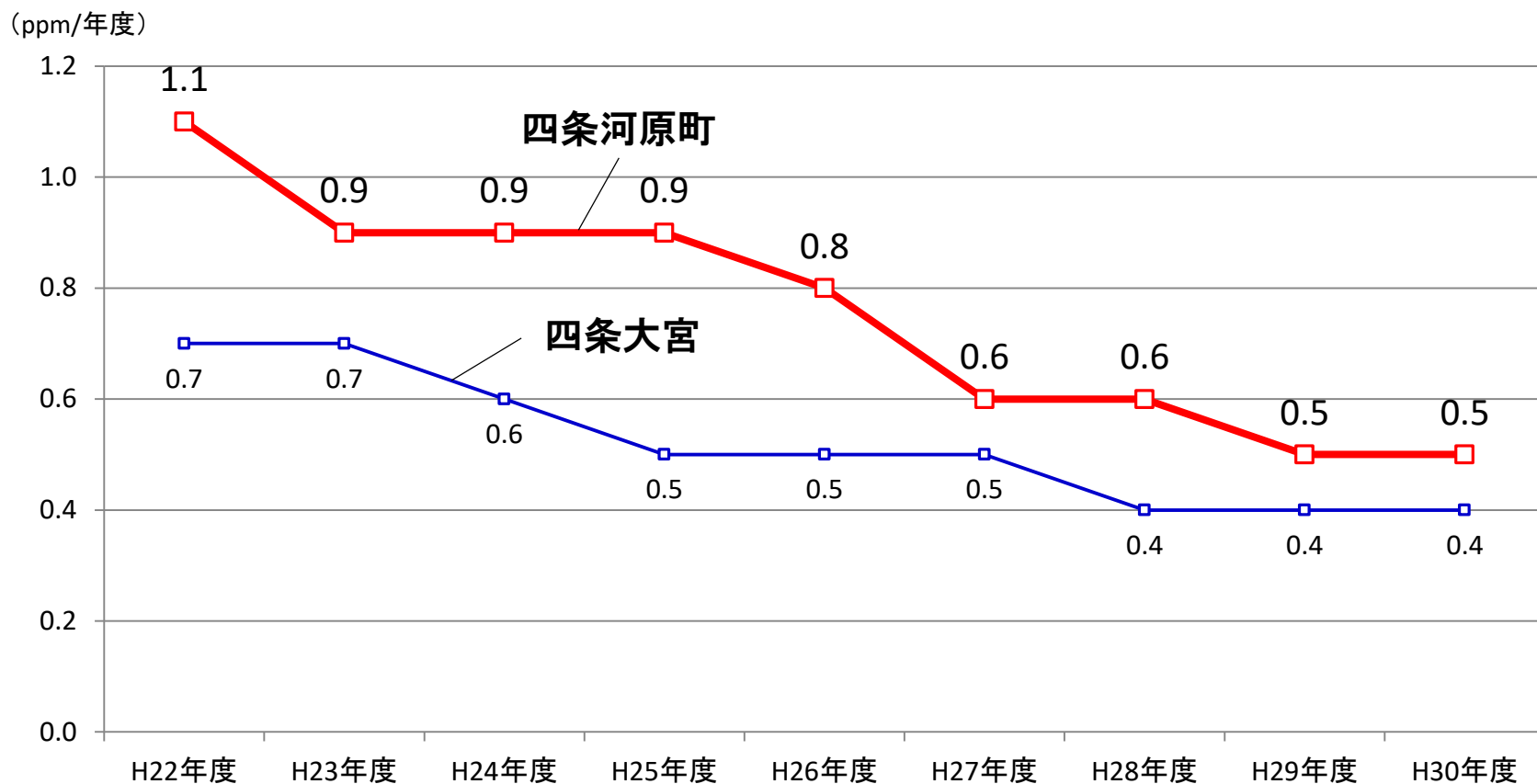


※平成28年度に一部事業者の算定方法に変更があった
資料：京都市調べ

図 四条通整備区間周辺の鉄道駅乗車人数の推移

< 3 環境 > 一酸化炭素（CO）の濃度

- 四條通における一酸化炭素（CO）濃度の年平均値は，四條大宮に比べ**四條河原町**の方が減少傾向が顕著となっている。（※平成30年度時点）



一酸化炭素濃度は非分散形赤外線吸収法による測定の結果

資料:京都市

図 一酸化炭素（CO）濃度（年平均値）

< 4 安心・安全 > 交通事故件数の推移

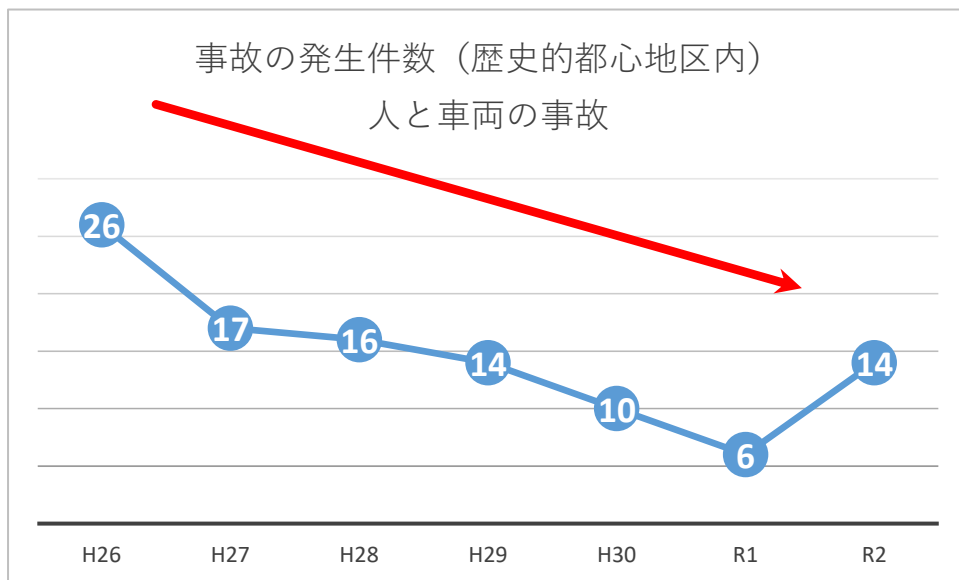
- 歩いて楽しいまちなかゾーンの整備（歩車分離）等により，歴史的都心地区内における人と車両が関係する**事故の件数は減少傾向**にある。

交通事故の発生件数（人と車両）

R2. 1. 1～ R2. 12. 31 14件

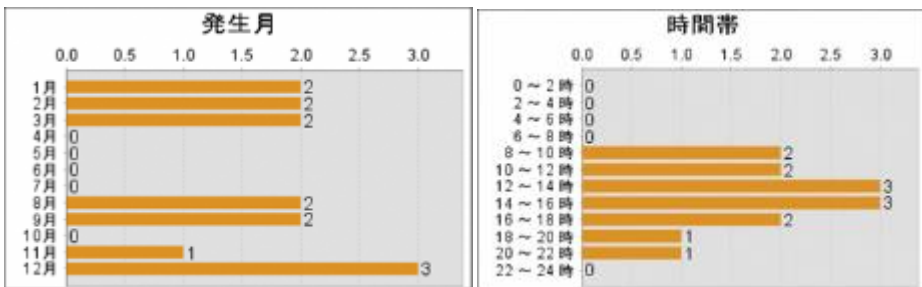


< 事故発生件数の推移 >



令和2年は増加（前年＋8件）したものの，事故発生件数は減少傾向にある

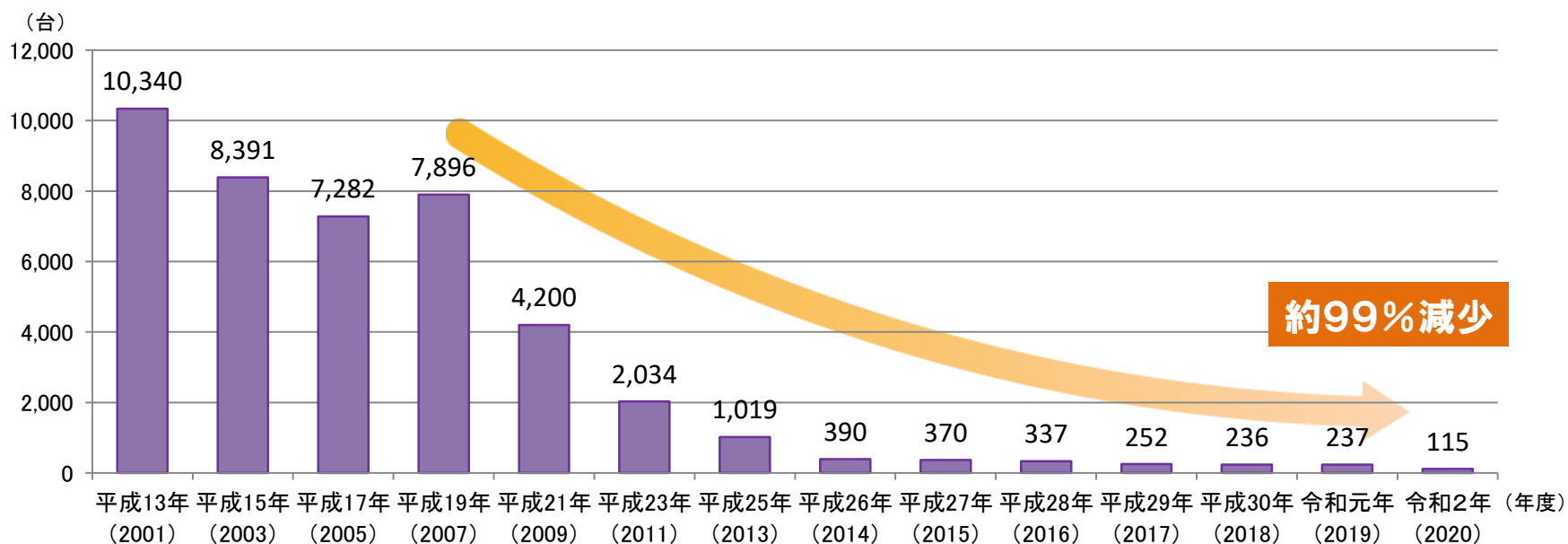
平成26年 26件 → 令和2年 14件（46%減）



資料提供： 京都府警察本部

< 4 安心・安全 > 放置自転車の現況

- 京都市における自転車の放置台数は大きく減少しており、**平成19年度と比べて約99%減**となっている。



※10～11月の晴天の平日、概ね午前11時時点において、市内各駅のうち1駅における放置台数が100台以上の駅を集計対象に放置台数を集計した値

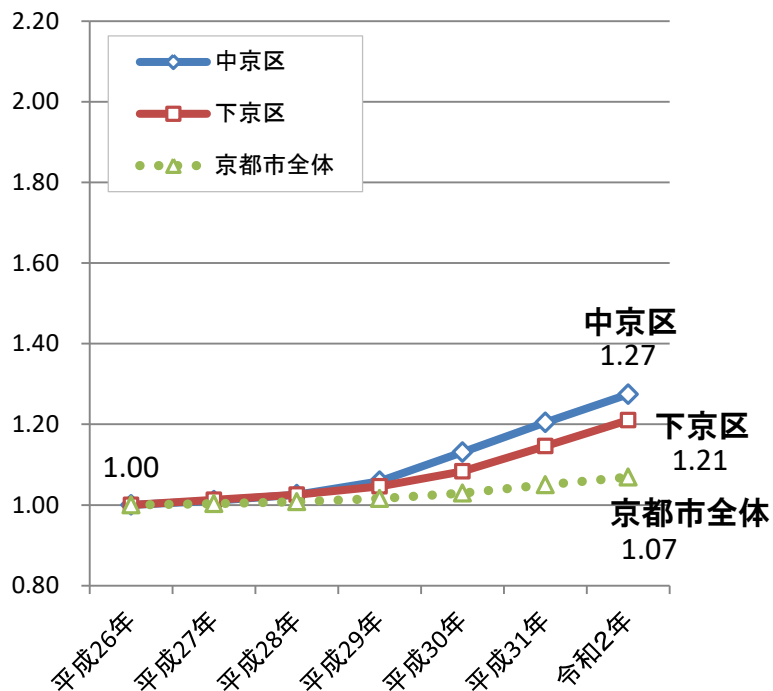
資料：京都市

図 自転車の放置状況

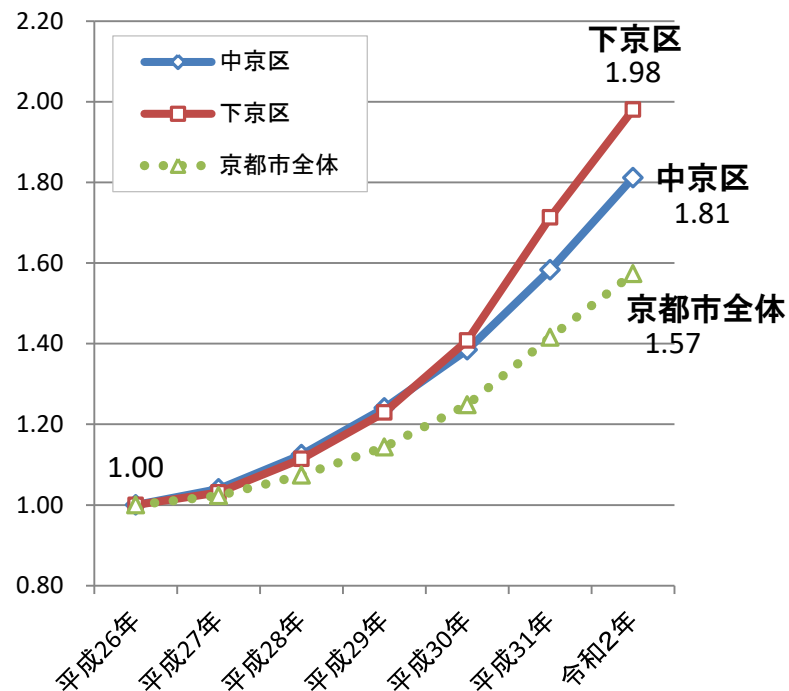
< 5 地域の価値 > 地価公示価格の推移

- 中京区と下京区における地価公示価格は、**市内平均を上回る伸び率**を示している。
(※令和2年1月1日時点)

<住宅地>



<商業地>



※基準日は各年の1月1日

資料：令和2年地価公示（国土交通省）

図 中京区及び下京区における地価公示価格の変化（左：住宅地，右：商業地）
(H26の年間平均値を1.0として，比較したもの)

5. 令和2年度の主な取組について

(1) まちなかへの車両流入抑制対策

○デジタルサイネージを活用したパーク＆ライドの利用促進



掲出の様子

<掲出場所>

掲出箇所を昨年度から大幅に拡充(R1:3箇所→R2:22箇所)

JR宇治駅、亀岡駅、長岡京駅、嵐電嵐山駅、西院駅、けいはんな記念公園等「京都スマートシティ推進協議会」所有の14箇所、運転免許試験場（羽束師、京都駅）、木津警察署など

○迂回誘導看板、電光掲示板の設置及び国道情報板を活用した周知【通年】



(迂回誘導看板 19箇所)



(電光表示板 15箇所)



(国道1号線、171号線他)

(2) 物流の整序化に向けた取組

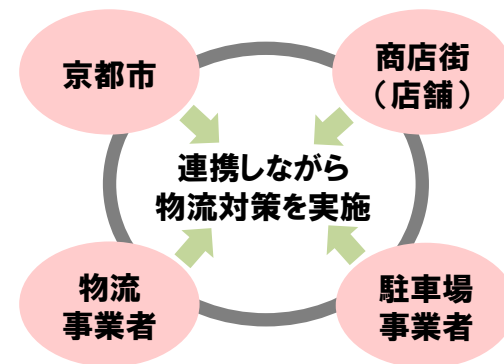
① 物流の整序化の目的

「歩いて楽しいまちづくり」を進め、賑わいを創出する

誰もが安心・安全で快適に歩ける歩行空間を確保しながら、
地域活動や普段の生活に欠かすことのできない「物流」を機能させる

② 物流の整序化の考え方

- 物流車両の路上駐停車は、荷主(店舗等)の依頼に応じて荷物を配達する際に発生する
- まちなかの物流環境をより良くするためには商店や物流事業者などの関係者が協力し合い、「物流の構造に対する理解」を深め、「まちへの気遣い」を継続させていくことが重要



③ 物流の整序化に向けた取組方針（令和2年度）

取組方針1: 地域全体でまちなか物流の改善に向けた問題意識を共有

取組方針2: 社会的な物流量の増加を見据えた物流荷捌き環境改善の検討

取組方針3: 駐車禁止規制が緩和された路線(区画)をさらに活かすための取組を推進

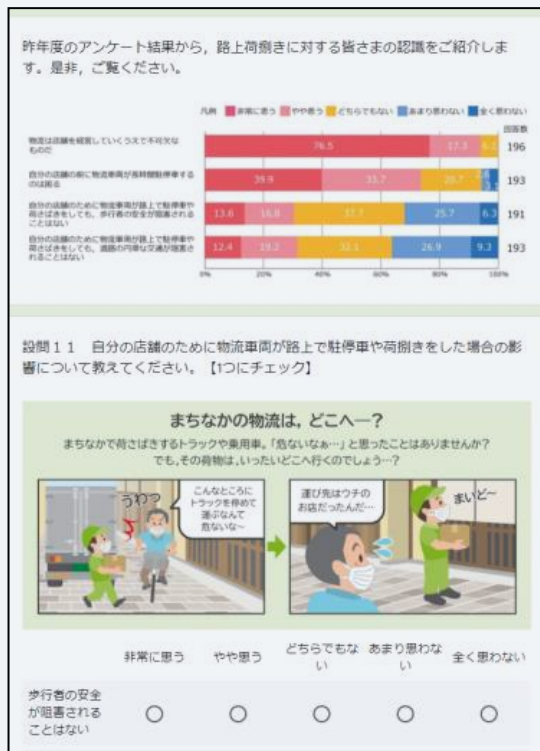
④ 令和2年度 主な取組内容

取組名	取組対象	取組内容
【取組方針1に対応】 まちなか物流に関する アンケート調査 令和2年11月24日(火) ～12月21日(月)	京都商店連盟中京東 支部所属 商店街加盟 店舗	商店街店舗の物流に対する意識の向上を目指し、納入・出荷状況、まちなか物流の問題意識などを調査 回答者の負担軽減のため、スマートフォンやパソコンを用いてインターネット上で回答するWEBアンケート方式を採用 NEW ※スマートフォンやパソコンに不慣れな方のために今年度は紙の調査票も同時に配布
【取組方針2に対応】 トラックドライバーに NEW 対するWEBアンケート調査 令和2年8月1日(土) ～8月31日(月)	京都府トラック協会加 盟事業所のドライバー	路上荷捌き環境の改善を目指し、運送事業者の現状や配送時の道路空間の利用状況等を調査
【取組方針3に対応】 駐車禁止規制緩和に NEW 係る周知・啓発チラシの配布 令和3年3月実施予定	御池通周辺の事業者	荷捌き・配達の際に駐車禁止規制が緩和されている御池通を活用してもらえるよう、周辺の事業者に対する啓発活動を実施

④ 令和2年度 主な取組内容

◆ まちなか物流に関するアンケート調査

＜WEBアンケート画面＞



【回答数】 170

【主な設問内容】

- ・各店舗における納入・入荷状況
- ・まちなか物流の問題意識 など

◆ トラックドライバーに対するWEB アンケート調査

＜WEBアンケート画面＞

一般社団法人
京都府トラック協会

京都府トラック協会会員向けアンケート

【調査目的】 京都市内を中心とする運送事業者の輸送状況や道路空間の利用状況、駐車禁止取締実施、駐車禁止規制の緩和に係る希望等についての調査を行い、今後、京都市とともに道路空間の有効活用を検討するための基礎資料とします。

・本アンケートは完全無記名で行っていただくものです。
・調査結果はすべて統計的に処理しますので、個人の情報が公表されることはありません。

お問い合わせ（アンケートの実施者）
京都府トラック協会
TEL：075-671-9175 FAX：075-661-0062
京都市都市計画局 歩くまち京都推進室内「歩いて楽しいまちなか戦略 物流ワーキンググループ」事務局
TEL：075-722-3483 FAX：075-713-1064

あなた自身とあなたの勤務先（会社）について教えてください
説明（省略可）

設問1 あなたの年齢を教えてください。*

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上
年齢	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

設問2 あなたの会社が所有している車両台数（概数）を教えてください

車両台数	10台以下	11～20台	21～30台	31～40台	41～50台	51台以上
車両台数	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【回答数】 250

【主な設問内容】

- ・配達が多い通り
- ・駐車規制緩和区画での協会ルール（20分以内）の認知度 など

◆ 駐車禁止規制緩和に係る周知・啓発チラシの配布

＜配布チラシ＞

御池通周辺の事業者の
皆さまへのお願い

京都市では、安全で快適なまちなか空間の創出に取り組んでいます。
細街路での物流車両の駐停車を減らし、安全で快適なまちなか空間を創出するため、商品の配達や荷さばきのための駐車は、**駐車禁止規制が緩和**されています。
いる御池通を活用いただくよう、物流事業者の皆さまにお伝えください。

御池通の駐車禁止規制緩和について

いつでも、だれでも
駐車できますか？

午前6時から午後8時までの間で、
貨物集配中の貨物車両に
限られます！

規制見直し場所なら
どこでも駐車
できますか？

交差点や横断歩道から5m以内、
バス停から10m以内の場所は
駐車禁止です
（道路交通法44条）

自社の車両による納入・出荷の際にも、御池通での
物流車両の駐停車にご協力をお願いします。

待ち時間を減らすことで効率的な良い配達が行えるように、
急ぎでない場合の時間指定は極力控えるなど、
ご配慮をお願いします。

人と環境にやさしいまちなか物流の実現に向けて、ご協力よろしくお願いいたします。

発行 京都府都市計画局歩くまち京都推進室 TEL 075-722-3483
印刷 2年12月 京都府印刷局 第00005号

【配布数】 150部程度

【配布対象】

令和元年度の物流実態調査の結果、特に荷捌き車両の多かった細街路に面するオフィスビル等

⑤ 物流WG参画団体の新たな取組について

【佐川急便】 高性能電動アシスト自転車を導入 NEW

1 内容

平成29年度から導入している電動アシスト自転車から、より高性能な電動アシスト自転車へ移行(令和2年10月より市内まちなか配送拠点に導入)

- 積載可能重量の増加(30キロ→120キロ)
- ワンタッチで解除可能な牽引部分の台車
- 2つの前輪が連動して動く車体構成により安定



TRIKE CARGO
佐川急便(株)HPより

2 取組効果

- ・作業効率の向上, 積み替え作業の負担軽減 ・配送エリアの拡大
- ・女性や運転免許未保持者といった幅広い人材が活用可能
- ・環境に配慮した配送の実現

【京都府トラック協会】 駐車禁止緩和3エリアの周知・啓発 NEW

1 内容

貨物集配中車両の駐車禁止規制が緩和されている3区画(※)について、業界ルール(1回の駐車20分以内)を遵守し、有効に活用いただくため、京都府トラック協会の会員に対し、周知・啓発チラシを配布

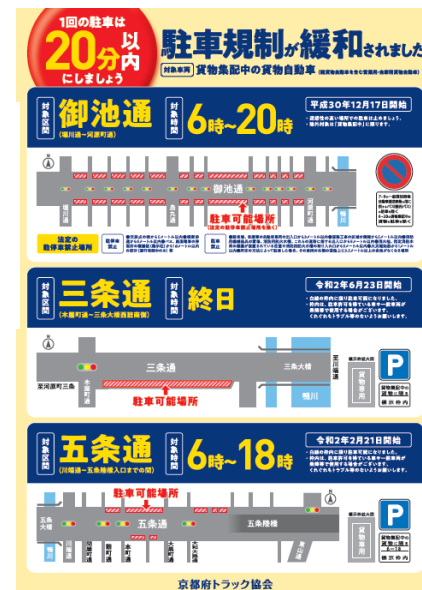
- | | |
|-------------------|--------------|
| (※)・御池通(堀川通～河原町通) | 平成30年12月17日～ |
| ・五条通(川端通～五条陸橋入口) | 令和2年2月21日～ |
| ・三条通(木屋町通～三条大橋西詰) | 令和2年6月23日～ |

三条通(木屋町付近)

2 配布時期

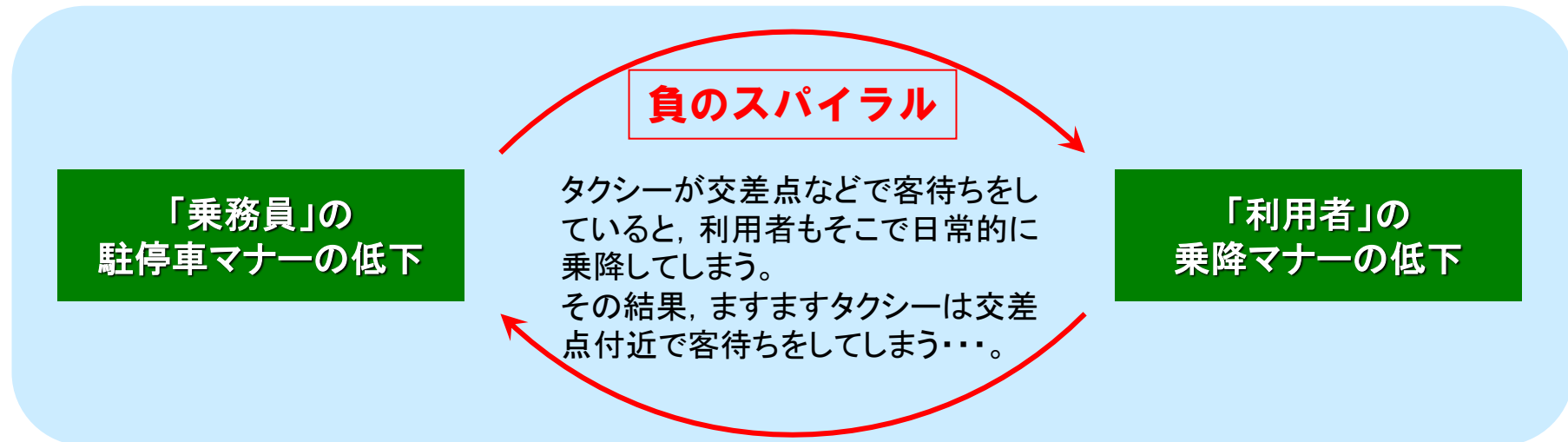
令和3年2月

チラシの他、トラック協会の会報誌でも周知

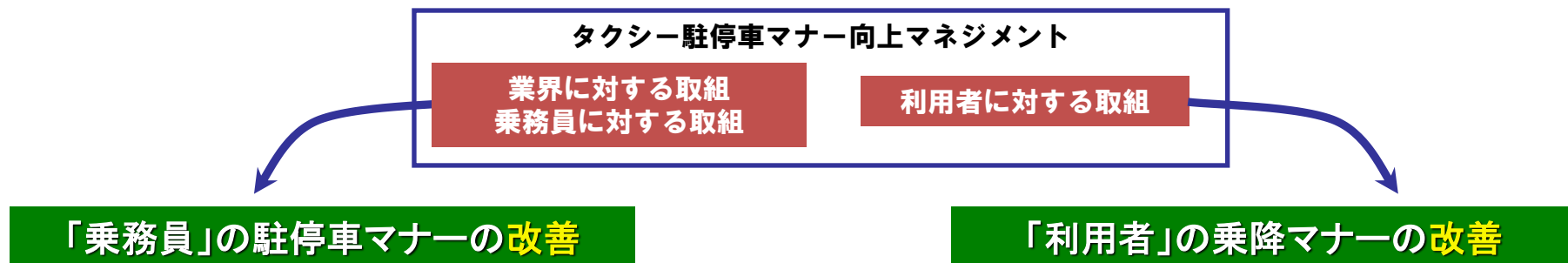


(3) タクシー駐停車マナー向上の取組

① 目的



どのように現状の改善を図っていくか・・・



負のスパイラルから脱却！

② 令和2年度 タクシー駐停車マナー向上 主な取組内容－1

【乗務員(タクシードライバー)に対する取組】

取組名	期間	対象など	取組内容	取組主体
①乗務員及び運行管理者向けアンケート調査	令和3年 1月12日(火) ～2月5日(金)	京都市域交通圏 のタクシー乗務員 及び運行管理者	啓発リーフレットの配布やアンケート調査を通じて、駐停車マナー向上を図る。	・京都タクシー業務センター ・京都市
②個人タクシー研修会でのマナー啓発 NEW	令和3年 2月9日(火)	更新研修の対象 となった個人事業者	更新研修会の中で啓発パンフレットを配布するなど、個人ドライバー対し、ルールやマナーの意識付けを行う。	・近畿運輸局京都運輸支局 ・(一社)全国個人タクシー協会近畿支部
③中心市街地重点路線等クリア作戦	令和2年10月30日(金) 及び 令和3年1月29日(金)	四条通 (西大路通～祇園)	違法駐停車車両の指導・啓発を行う。	・京都タクシー業務センター ・京都府警 ・京都市
④横断幕の掲出	令和3年 1月12日(火) ～2月5日(金)	四条通:5箇所 京都駅八条口: 1箇所	タクシーマナー向上を呼びかける横断幕を設置し、乗務員・乗客双方に対してマナー向上を啓発する。	・京都市

①乗務員及び運行管理者
向けアンケート調査



③中心市街地重点路線等クリア作戦



④横断幕の掲出

③ 令和2年度 タクシー駐停車マナー向上 主な取組内容－2

【利用者(乗客)に対する取組】

取組名	期間	対象など	取組内容	取組主体
⑤タクシー車内での啓発 (都タクシーグループ車両内のデジタルサイネージを活用した啓発) NEW	令和3年 1月30日(土) ～2月28日(日)	都タクシーグループ 所有の車両(約500 台)	駐停車禁止区域等の情報をタクシー車内に掲出することで、乗客に対して乗降マナーの周知を図る。 ※都タクシー以外は、ヘッドレストにポスターを掲示	・都タクシー(株) ・京都市
⑥タクシー乗り場マップの作成 NEW	令和3年2月～	京都市内のタクシー 乗り場	市内タクシー乗り場を網羅的に示したWEBマップを作成。今後本市HP等上に掲載するなど周知を図る	・京都タクシー業務センター ・京都市
⑦フリーペーパーを活用した啓発	令和3年 3月4日(木)発行	Leaf mini vol46号 (フリーペーパー) 京都市営地下鉄駅構内等に配架(約5万部)	フリーペーパーに記事を掲載することで、幅広い層にタクシー乗降マナーを周知する。また、便利な配車アプリの利用についても掲載	・京都市



⑤タクシー車内での啓発



⑥タクシー乗り場マップの作成



⑦フリーペーパーを活用した啓発



6. 今後の取組方針について

(1) まちなかへの車両流入抑制

<パークアンドライドやお得な公共交通情報の更なる発信>

- ・パークアンドライドの利用促進や公共交通の利便性向上など、公共交通優先の「歩くまち・京都」の様々な取組により、市内まちなかには公共交通でという意識が市民や観光客に浸透しつつある。

<四条通の年間交通量 (P13)>

平成30年 5, 322, 256台 → 令和元年 5, 214, 105台

→ 令和2年 4, 845, 040台(平成30年比 △477, 216台 約9%減)

- ・一方で、観光シーズンにおいて、四条通を運行する市バスの設定時間(15分)を超える月がある(P15)など、継続的な車両流入抑制対策が必要である。

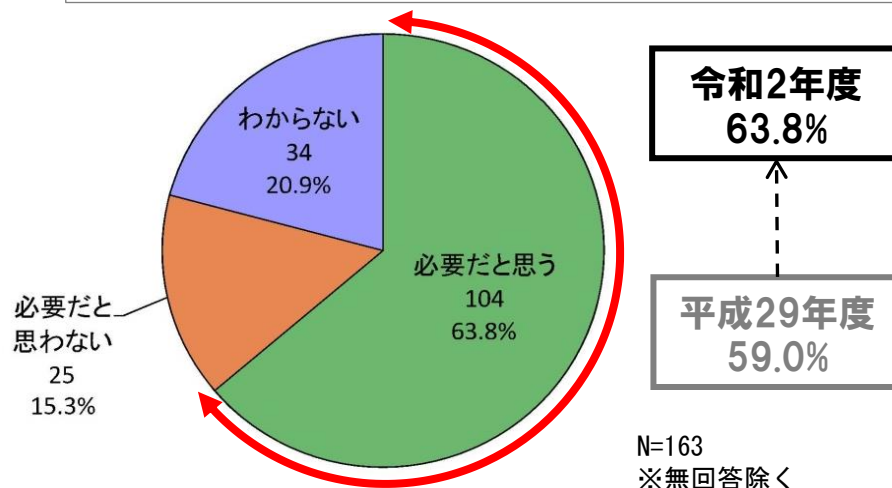
- ・今年度から本格的に実施している、郊外の鉄道駅等に設置されたデジタルサイネージを活用したパークアンドライドの利用促進の継続及び拡大を図る。
- ・パークアンドライド駐車場の割引やバス・鉄道のお得なチケット情報等、利用者にとってインセンティブのある情報を、様々な媒体(HP, フリーペーパーなど)を用い、効果的に発信し、公共交通の利用促進を図る。

(2) 物流の整序化に向けた取組－ 1

<① 商店街ごとの具体施策の聞き取りや好事例の共有>

- まちなかの商店店舗を対象とした「まちなか物流に関するアンケート調査」の継続的な実施(平成29年度～)により、物流課題の解決に対する地域の商店店舗の理解が深まっている。

Q あなたは路上駐停車や路上荷捌き等の物流問題の解決が必要だと思いますか？



- 一方、商店街ごとの様々な御事情により、具体的な取組に至っていないケースもある
- また、昨今の社会情勢や物流を取り巻く状況変化により、新たな物流課題も生まれている(コロナ禍における店舗形態の変化や物流における担い手不足など)。

- まずは、商店街から、現状の取組や課題、要望などを聞き取り、現状を把握するとともに、他都市の好事例や、これまでのアンケート調査等から得られた知見を商店街にフィードバックするなど、少しでも効果的な取組に繋がるよう調査・検討を進める。

(2) 物流の整序化に向けた取組－ 2

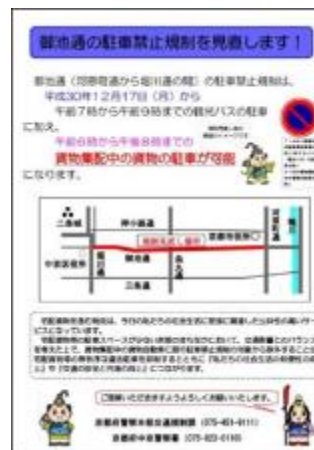
<② 各関係団体との連携による駐禁緩和区画の周知・啓発>

- 物流ドライバーの働き方改革の一環として実施されている「貨物集配中車両の駐車禁止規制緩和」については、御池通(H30.12.7～), 五条通(R2.2.21～)の一部区画に続き, 令和2年6月23日からは三条通の一部区間で実施されるなど, 広がりを見せている。
- しかし, 御池通周辺を対象に実施した物流実態調査や, 京都府トラック協会や京都府警察と共同で実施した周知・啓発活動から, 周辺で活動する物流事業者や商店店舗, オフィスビル等の事業者に駐禁緩和が十分認知されていないことがわかっている。

規制緩和を有効に活用することは, 物流事業者の負担軽減のみならず, まちなか物流の整序化にも寄与するものであることから, 引き続き, 京都府トラック協会や京都府警察等関係団体と連携し, 物流ドライバーや荷主である商店店舗, 周辺オフィスビル等の事業者に対する周知・啓発の徹底を図る。



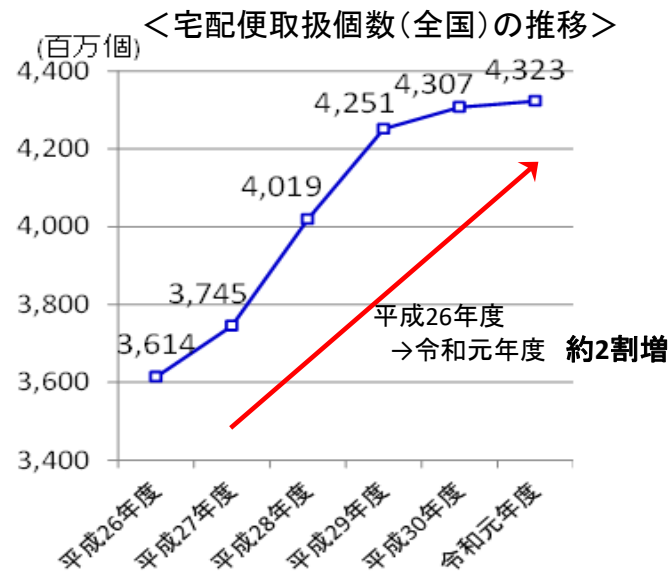
<多様な主体の連携による地道な啓発活動の展開>



(2) 物流の整序化に向けた取組-3

＜③ 荷捌き環境の更なる改善に向けた検討＞

- インターネット通販等の拡大や、巣ごもり消費需要増による個人宅配個数の急増、また、それに伴うドライバー不足など、近年、物流事業者を取り巻く環境が変化している。
- 物流業界からは、安心して配達できる荷捌き環境が求められており、まちなかの限られた道路空間を活用した荷捌き環境の改善が課題となっている。
- 令和2年8月に実施した、京都府トラック協会に所属するトラックドライバーに対するアンケート調査では、御池通のような駐禁緩和を希望する通りとして、河原町通(全体の27.2%)、烏丸通(23.6%)、四条通(18.0%)の順にあった。



オフィスビル周辺での
荷捌きの様子

京都府トラック協会と連携し、まずは、既存の規制緩和区画(御池通、三条通、五条通)について、協会の推奨ルール(1回の駐車20分以内)を守り、有効に活用いただけるようドライバーに呼び掛けるとともに、まちなかの道路の特性や、各通り時間帯別の利用実態、まちなかで活動するドライバーの詳細なニーズ等を把握するための調査を行うなど、まちなかの限られた道路空間のなかで、周辺交通に極力影響を与えない範囲で、どのような対策が可能か、検討を進める。

(3) タクシー駐停車マナー向上に向けた取組－ 1

< ① タクシー乗務員のマナー意識の定着 >

- ・利用者アンケート(H30)の結果を踏まえマナーの向上に努めようと思う方は、この5年間で増加傾向にある(16.3%増加)など、これまでの継続的なアンケート調査や啓発活動により、乗務員の駐停車ルール・マナー意識は定着してきている。
- ・一方で、タクシー乗り場からぼはみ出しや、交差点やバス停付近での違法な客待ちは依然として多く、市バスの運行や乗降にも悪影響を与えているという指摘も多くいただいている。

【利用者アンケート(H30)】

- ・交差点やバス停付近でタクシーの乗り降りをしないようにしようと思う→93.4%
- ・乗り場以外で客待ちしているタクシーは使わないようにしようと思う→85.5%



タクシー業務センターによる指導の様子

Q 利用者アンケート(H30)の結果を踏まえマナーの向上に努めようと思いますか？

「そう思う」「やや思う」

H28

+16.3%

R1

79.9%

96.2%

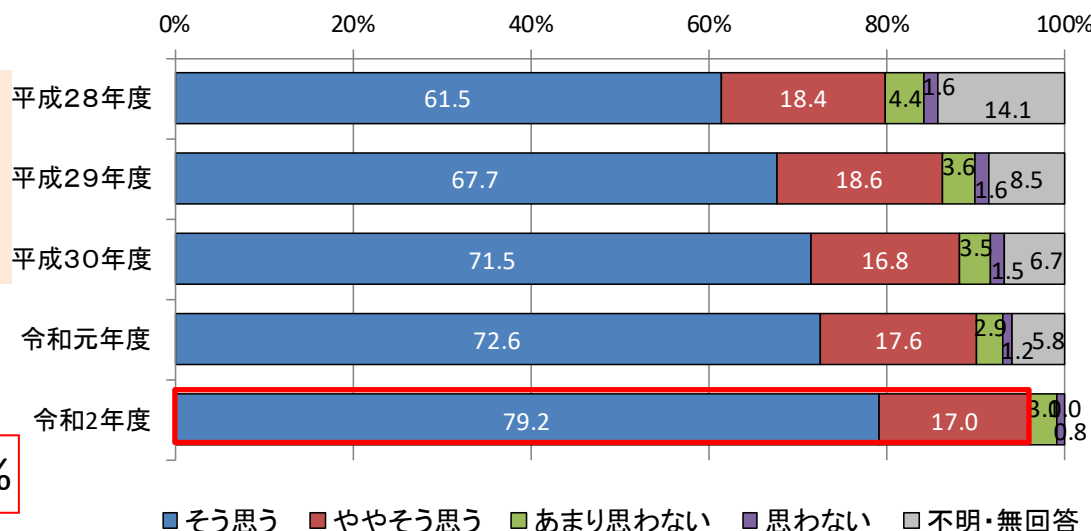


図 駐停車マナー向上への意欲

引き続き、関係機関と連携し、現地での違法駐停車車両に対する周知・啓発活動に取り組むとともに、タクシードライバーを対象とした研修会や講習会で、マナーやルールの遵守を時呼びかけるなど、比較的意識の低いと思われる乗務員に対する働きかけも進める。

(3) タクシー駐停車マナー向上に向けた取組－2

＜② タクシー利用者への周知・啓発＞

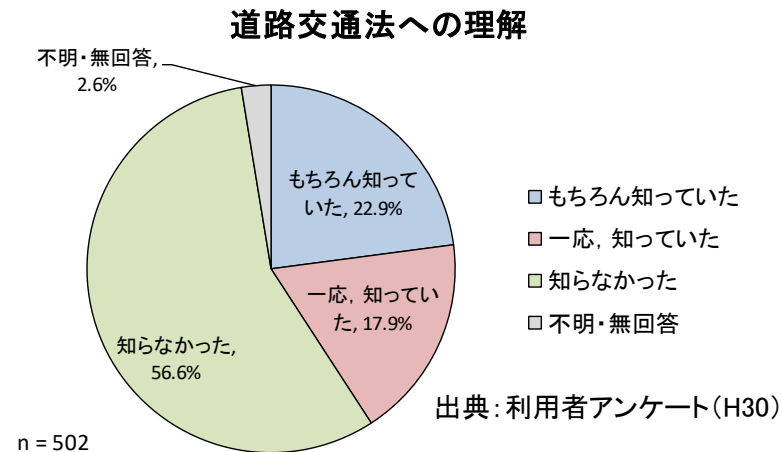
- 平成30年度に実施したタクシー利用者に対するアンケート調査では、回答者の半数以上が駐停車ルールについて知らなかったと回答した。
- また、乗務員からは、利用者側へのルール周知や啓発活動を求める声があがっており、乗務員だけでなく、利用者(乗客)に対するアプローチが必要である。

◆ 利用者啓発・マナーの向上を求める意見(抜粋)

- 交差点内やバス停、横断歩道等で乗降しようとするお客様が多い。(多数)
- 駐停車違反と理解しているが、乗務員よりお客様の利用者心理を考え、仕方なく対応することがある。(多数)
- 利用者にも交差点内は駐停車禁止であることを周知・啓発活動をして欲しい。
- 利用者側にもマナー向上の取組をしていただきたい。
- 利用者にも、乗降禁止場所のアピールをもっとすべき。
- 一般の利用する側のお客様側にも、理解が出来るようにテレビCM等で宣伝すべきである。

これまでの乗務員アンケート調査より抜粋

Q 交差点付近等や四条通・京都駅八条口での駐停車ルールについて、ご存知でしたか？



これまでのタクシー車内での周知・啓発に加え、近年普及が進む「タクシー配車アプリ」や車内デジタルサイネージ等を活用するなど、タクシー利用者にルールを守って正しく乗降いただく取組を進める。

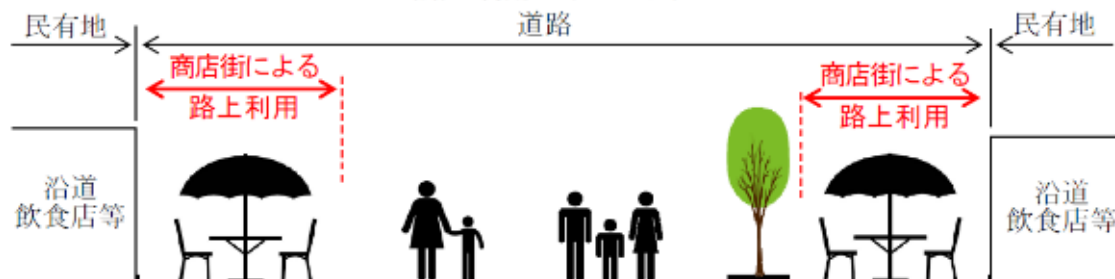
(4) 更なるまちなかの賑わい創出を目指す取組

<地域特性や社会ニーズにマッチした「歩いて楽しいまち」づくりの推進>

- ・ 国では、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」をコンセプトに掲げ、賑わいのあるまちなかづくりに必要な法改正や予算・税制措置など施策を重点的に講じている。(例:道路法改正:「歩行者利便増進道路」として指定されれば、カフェやベンチを設置する際の占用制度を緩和(無余地性の基準除外, 占用期間の延長など))
- ・ また、河原町蛸薬師商店街では、新型コロナウイルス感染拡大対策として設けられた道路占用許可基準の特例緩和を活用し、路上でテラス営業を行うなど、道路空間を利活用した賑わいの創出や地域の活性化に向けた取組(実証実験)が実施されている。

○日 時:令和2年10月17日(土)～令和3年3月31日(水)
(各日午後1時から午後8時まで ※車両通行禁止時間帯)

○活動地域:蛸薬師通(河原町通から新京極通まで 約170m)
〈路上利用のイメージ〉



※令和2年11月25日には
寺町京極商店街でも実施



蛸薬師商店街での実証実験の様子

まちなかにおける商店街振興組合やエリアマネジメント団体などの地域団体が、国の支援等を受けて実施する賑わい創出の取組とも十分に連携し、地域特性や社会情勢、社会ニーズにあった、賑わいのある「歩いて楽しいまち」づくりを進める。